



私たちは、生徒の「夢・挑戦・自立」を応援します



令和6年7月12日発行
校長 浅香英典 No.5

地域に信頼される学校へ

校長 浅香 英典

6月30日(日)に本校の校庭と体育館で、おやじの会、PTA、開かれた学校づくり協議会共催による納涼祭を行いました。昨年度から飲食物の販売を再開しましたが、今年度はさらにポップコーンの販売を始めました。一部の食券は前売り時に売り切れとなるなど、地域からの関心の高さを感じました。また、吹奏楽部によるオープニング演奏や生徒会役員によるクイズを行いました。毎年グレードアップをしています。

オープニング時から多くの子供たちやその保護者、地域の方に来ていただきました。参加した子供たちはゲームやスポーツ体験などを楽しみながら行い、焼きそばやフランクフルト、ポップコーン、かき氷などをおいしそうに食べていました。また、本校の全生徒数の半数以上である65人の生徒がボランティアとして参加しました。中には「休憩は必要ありません」という熱い思いで参加する生徒がいて、頼もしく感じました。ボランティア生徒たちは事前打ち合わせで自分の仕事内容を確認しました。当日は朝9時に集まり、会場の準備やゲームの進行方法、販売方法の確認を行い、納涼祭に臨みました。参加した子供たちが夢中になってゲームを楽しんでいる姿、笑顔でボランティアをしている生徒の姿を見ることができました。納涼祭が多くの人を笑顔にしていることに非常に嬉しい気持ちになりました。生徒と近隣の子供たち、地域の方が楽しい時間を共有できる貴重な行事でした。

学校は、子供が自立して社会で生き、豊かな人生を送ることができるよう、その基礎となる力を培う場であり、子供たちの豊かな学びと成長を保障する場としての役割があります。教育により、子供たちの一人一人の潜在能力を最大限に引き出し、全ての子供たちが幸福に、より良く生きられるようにすることが求められています。しかし、子供たちの生きる力は、学校だけで育めるものではなく、多様な人々と関わり、様々な経験を重ねていく中で育まれるものであります。地域社会とのつながりや信頼できる大人との多くの関わりを通して、心豊かにたくましく成長していきます。子供たちの豊かな成長を促すために、より一層地域に開かれ、地域と積極的に向き合うことで、地域に信頼される学校づくりを進めてまいります。

納涼祭は、地域とのつながりを感じながら、様々な実体験ができる貴重な学びの場となりました。主体性や協調性、社会性などを育むことができました。

もうすぐ夏休みに入ります。夏休み中、学校ではサマースクールや部活動などを実施しますが、生徒たちはほとんどの時間を家庭や地域で過ごします。地域の皆様には生徒たちを見守っていただけますと幸いです。また、生徒たちが地域の行事などにおいて、地域の人々とのつながりを肌で感じ、豊かな心を育むとともに社会性を伸ばしてほしいです。